

デジタル教科書指導案／地理的分野

1. 題材 p.148-149 日本のさまざまな自然災害

2. 目標 (1) 地震や火山による災害の特徴を理解し、日本では地震や火山の災害が多い理由を考察できる。

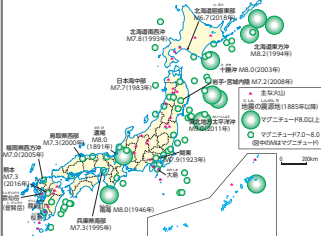
(2) 日本は台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多いことを理解し、気象災害が多い理由を考察できる。

3. 章・節の評価規準例につながる指導のポイント

評価との関連	指導のポイント
知識・技能	・日本は地震や火山による災害のほか、台風や大雨、冷害、大雪などの気象災害が多いことを調べ、まとめている。
思考・判断・表現	・日本で地震や火山による災害や気象災害が多い理由を、環太平洋造山帯との関わりや四季が明瞭な気候など、日本の自然環境の特色から多面的・多角的に考察している。

4. 指導過程

	学習内容・学習活動	資料・発問	留意点(○)・指導のポイント(◆)
導入	1. 地震による災害の写真を題材にし、本時の課題をつかむ。 2. 日本でみられる自然災害を挙げ、日本で自然災害が多い理由を予想し、学習課題への見通しを持つ。	 p.148 ① p.148 ② 写真から、地震による災害の特徴を説明してみよう。 日本には、地震のほかにどのような自然災害があるのだろうか。また、さまざまな自然災害が発生する理由を予想してみよう。	○ 地震による災害の写真から、地震災害の特徴を挙げさせながら、本時への導入を図る。 ○ 日本でみられる自然災害を挙げさせ、日本でさまざまな自然災害が起こる理由を予想させる。 ○ 「学習前の予想」へ記入させ、本時の学習展開の見通しを持たせる。
	学習課題：日本で発生する自然災害は、地形や気候とどのような関係があるのだろうか。		
展開	3. 日本の主な火山を調べ、日本には多くの火山があることを理解する。	 p.149 ⑥ あなたが住む場所から最も近い火山を挙げてみよう。 地図帳で、日本の主な火山の場所を調べてみよう。	○ 自分が住む場所から最も近い火山を挙げさせ、地図帳を活用して主な火山を調べさせる。 ◆ 日本国内には多くの火山があることを理解させる。
展開	4. 過去の地震災害が発生した場所を確認し、地震や火山災害による被害の特徴を地形との関係から考える。	 p.148 ① p.148 ② p.149 ⑥ ①・②の地震の震源地や③の火山の場所を確認してみよう。	○ 過去に発生した地震の震源地や噴火した火山の位置を確認させ、地震や火山によって起こる災害について考えさせる。 ◆ 日本では、地震による津波の被害や液状化、火山の噴火による火砕流や降灰などが発生することがあることを理解させる。

展 開	5. 日本の気象災害の特徴を理解し、さまざまな気象災害が発生する理由を考える。 (1) さまざまな気象災害 (2) 気象災害が多い理由	  p.148 4 p.149 7 地震や火山によって起こる被害を挙げてみよう。 なぜ、日本は地震や火山活動による災害が多いのだろうか。   p.149 9 「さまざまな気象災害」 気象によって起こる自然災害を挙げてみよう。  p.149 8 日本では気象災害が多い理由を考えてみよう。	○ 日本では地震や火山による災害が多い理由を考えさせる。 ◆ 日本は環太平洋造山帯に位置しているため、地震や火山の影響を受けやすいことを理解させる。 ○ 気象によって引き起こされる自然災害には、どのようなものがあるか考えさせる。 ◆ 台風による強風や高潮、大雨による洪水や土石流、大雪、干ばつ、冷害などさまざまな気象災害があることに気付かせる。 ○ 日本では、気象と関係する自然災害が多い理由を考えさせる。 ◆ 日本は豪雪や梅雨、台風など、季節ごとに異なる気象災害が発生しやすく、山がちで複雑な地形をしていることも、気象災害と関わりがあることを理解させる。
整 理	6. 本時のまとめをする。 7. 学習課題への振り返りの活動を行う。	身近な地域で発生する可能性がある自然災害について、地形や気候の特徴を踏まえて説明しよう。 「学習後の振り返り」の欄に記入してみよう。	◆ 身近な地域で発生する可能性がある災害について、地域の自然環境や過去の事例に基づいて説明できたか確認する。 ○ 「学習後の振り返り」へ記入させ、「学習前の予想」と比較させる。